□勝山輝男：**日本のスゲ**　375 pp．2005．￥4,800．文一総合出版．ISBN: 4-8299-0170-5.

日本のスゲ類の図鑑はいくつもあるけれど，写真によるものはこれが初めてだそうだ．「長ものは苦手」とする私にも，カラーで写した花穂のアップは説得力がある．写真のほとんどは著者の手になり，説明文はすべて著者自身の標本や実物からの観察結果に基づく．

本書では日本産スゲ属252種のすべてを扱い，加えてそれらの変種も扱われている．はじめに分類形質の詳細な説明が接写画像を伴って行われ，続いてそれによる節への検索表が示され,さらに節ごとに特徴となる形質がまとめられている．この「節の特徴」の項は，従来の二分式検索表では見落とされがちなもので，これを一覧表に組んだら有用だろう．

植物は検索表の順序に配列され，1頁1種の割りつけで，全形，花穂のアップのほか，特徴を示す部分の画像がついている．記述は果期，生育環境，国内分布，国外分布，環境省レッドリストについて簡潔に記され，形状の記述の他に「分類」という見出しで種内群を説明している．広くお勧めしたい．デジタルカメラの発達で，接写が楽に行えるようになり，画像処理の技法も自由度が増したので，今後は追随した企画がふえるだろうと期待される．

（金井弘夫）

□近田文弘，清水建美，濱崎恭美（編）：**帰化植物を楽しむ**　239 pp．2006．¥1,890．トンボ出版．ISBN: 4-88716-156-5.

清水，近田両氏は，さきに「日本の帰化植物」（平凡社 2003年）を刊行したが，本書はその副産物に当たるものだろう．冒頭に「帰化植物あれこれ」と題して，近田氏がいくつかの種類をとり上げて話題提供をしている．

本書の主部は，帰化植物に関心を持っている各地の人たち10人が，それぞれの調査研究について自由に書いていて，一地域だけではわからない帰化植物のふるまいを知ることができる．165頁以降は清水，濱崎氏による都道府県別帰化植物分布表で，1,316種類の分布が一覧できるようになっており，前述の「日本の帰化植物」で扱われた種類については，そのことがマークされている．この分布表は，小さくても分布図にした方が，具体的イメージがつかめてよかったのではないかと思うが，頁数がふえるので考えものである．別途発表の手段を工夫したら面白いだろう．

（金井弘夫）